

Almeida

について



写真: Aldeias Históricas de Portugal

アルメイダ

歴史ある村に分類されるアルメイダ（Almeida）は要塞で守られた町で、空から見ると、12のとがった先端を持つ星型の全体像が明らかになります。12のとがった先端は砦と半月堡で、これが町を囲んでおり、全長は2,500メートルあります。この驚くべき要塞は、アルメイダが初めてポルトガル領となった1297年のアルカニゼス条約で定められたスペインとの国境から約12キロメートル離れた高台にあり、この地域の重要な戦略的防衛地点と考えられた中世の城の周囲に17世紀～18世紀にかけて築られました。

アルメイダは、今もポルトガルに残る塁壁の最もよい例の1つです。侵入者の潜入を難しくする広大な堀で囲まれた切石積みの壁、周囲の領土全体を注意深く見張ることができる戦略的に配置した砦、トンネルの形をした3つのアーチ型の門、侵入者をあざむくことを目的として造られた偽の扉、戦争時に生き延びるために必要なものすべてを格納するとともに、地元の住民全員の避難場所として使用できる地下の砲部を最も典型的な特徴としています。

アルメイダは、特に17世紀の独立回復戦争（これによりスペインはポルトガルの王位から完全に排除される）や19世紀に町が長期間にわたってナポレオン軍の占領下に置かれたフランスの侵攻など、何世紀にもわたって数々の熾烈な戦いの舞台となりましたが、フランスの侵攻時に弾薬庫に保管されていた膨大な量の火薬の爆発により城や城壁の一部が破壊され、ついには陥落しました。

要塞の塁壁の中では、調和のとれた家々や、狭い通りに点在し、古い昔の時代の雰囲気をとどめている多くの宗教建築物や民間の建築物をしばらくの間、鑑賞しながら散策する価値があります。

問い合わせ先

ウェブサイト：<https://aldeiashistoricasdeportugal.com/aldeia/almeida/>

ソーシャルネットワーク <https://www.facebook.com/ALDEIASHISTORICASDEPORTUGAL>